

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年8月10日

上場会社名 株式会社アバールデータ 上場取引所 東
コード番号 6918 URL <https://www.avaldata.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 豊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部ゼネラルマネージャー (氏名) 熊澤 陽一 (TEL) 042-732-1000
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,446	△4.0	684	24.0	746	27.1	537	26.2
2023年3月期第1四半期	3,590	50.6	551	13.9	587	13.1	425	13.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	87	29	—	—
2023年3月期第1四半期	69	22	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 25,722	百万円 20,067	% 78.0
2023年3月期	27,951	20,874	74.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 20,067百万円 2023年3月期 20,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 46.00	円 銭 —	円 銭 199.00	円 銭 245.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	51.00	—	60.00	111.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	△19.8	1,190	1.1	1,255	1.1	905	1.1	147.03
通期	13,000	△9.7	2,620	9.3	2,710	8.6	1,950	△54.3	316.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	7,417,842株	2023年3月期	7,417,842株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,262,619株	2023年3月期	1,262,591株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	6,155,242株	2023年3月期1Q	6,149,944株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ(3)「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」に変更され、行動制限が緩和されたことにより、社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は緩やかに改善いたしました。一方で世界経済では、地政学的なリスクの長期化、金融引締めや物価上昇、供給面での制約が続いており、依然として予断を許さない状況となっております。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、メモリ価格下落による設備投資の削減などの影響などから調整局面に入り、回復には時間を要する状況となっております。

このような経営環境のもと、当社では、半導体種別により一部の部材の入手難は続くものの、難入部材が入り始めたことで長納期となっていた受注残の消化、製品化による顧客への提供が進んだことから、概ね順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は3,446百万円(前年同四半期比4.0%減)、営業利益は684百万円(前年同四半期比24.0%増)、経常利益は746百万円(前年同四半期比27.1%増)、四半期純利益は537百万円(前年同四半期比26.2%増)となりました。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。半導体製造装置関連におきましては、部材の供給難が一部解消されたことにより、受注残の製品の完成、納入が進んだことなどから、概ね想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は2,221百万円(前年同四半期比14.8%減)、セグメント営業利益は414百万円(前年同四半期比20.6%増)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。高額部材の価格転嫁分は減少いたしました。前期に引続き部材の供給難が一部解消されたことにより、受注残の製品の完成、納入が進んだことなどから、概ね想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は1,836百万円(前年同四半期比23.2%減)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。受注残の消化が進んだことにより、概ね想定どおりで推移いたしました。

この結果、売上高は254百万円(前年同四半期比75.1%増)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。一部顧客が増加基調となったこともあり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は129百万円(前年同四半期比88.6%増)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。前期に引続き部材の供給難が一部解消されたことにより、受注残の製品の完成、納入が進んだことなどから、全般的な産業用装置における設備投資は、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,225百万円(前年同四半期比24.4%増)、セグメント営業利益は425百万円(前年同四半期比19.8%増)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。医療機器関連および半導体製造装置関連を中心に堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は171百万円(前年同四半期比117.6%増)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。一部製品において入手難であった部材の入手が進み、受注残の一部が消化されたことで、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は510百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、一部顧客の回復の影響もあり全体として堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は498百万円(前年同四半期比28.2%増)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は44百万円(前年同四半期比138.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は25,722百万円(前事業年度末比2,229百万円の減少)となりました。

増加要因として、電子記録債権が120百万円、棚卸資産が746百万円、新たに開発拠点を山梨県韮崎市にR&Dセンターとして設置するために土地の取得等を行っていること、また、生産拠点である厚木事業所の増築を行っていることで、結果、有形固定資産が345百万円、それぞれ増加しております。

減少要因として、現金及び預金が、未払法人税等および未払消費税等の納税並びに配当金の支払、また、有形固定資産の取得と一時的な支出等が重なったことにより、3,437百万円減少しております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は5,654百万円(前事業年度末比1,422百万円の減少)となりました。

増加要因として、支払手形及び買掛金が72百万円、繰延税金負債が69百万円、その他として、未払金が108百万円、未払費用が29百万円、預り金が202百万円、それぞれ増加しております。

減少要因として、未払法人税等が1,525百万円、賞与引当金が151百万円、役員賞与引当金が47百万円、その他として、未払消費税等が182百万円、それぞれ減少しております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は20,067百万円(前事業年度末比806百万円の減少)となりました。

主に、利益剰余金が687百万円、その他有価証券評価差額金が119百万円、それぞれ減少しております。

(自己資本比率)

当第1四半期会計期間末における自己資本比率は78.0%(前事業年度末は74.7%)となりました。

なお、自己資本比率は、当社の経営指標の一つとしており、自己資本比率80%以上を目標としております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、現時点では、2023年5月15日付「2023年3月期 決算短信」に公表いたしました数値からの変更はございません。

また、今後、業績に影響を及ぼす事態が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,993,105	5,555,871
受取手形、売掛金及び契約資産	2,499,078	2,436,232
電子記録債権	266,131	386,435
商品及び製品	654,529	727,781
仕掛品	479,524	625,396
原材料及び貯蔵品	4,833,024	5,360,620
その他	57,980	121,474
流動資産合計	17,783,372	15,213,812
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,144,307	1,151,856
その他(純額)	781,931	1,120,090
有形固定資産合計	1,926,239	2,271,946
無形固定資産		
	41,015	37,954
投資その他の資産		
投資有価証券	8,144,205	8,117,335
関係会社株式	0	25,500
前払年金費用	23,975	23,050
その他	32,490	32,437
投資その他の資産合計	8,200,671	8,198,323
固定資産合計	10,167,926	10,508,224
資産合計	27,951,299	25,722,037
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,664,367	2,736,407
未払法人税等	1,619,676	94,032
賞与引当金	319,870	168,706
役員賞与引当金	66,600	18,650
その他	348,317	509,179
流動負債合計	5,018,830	3,526,976
固定負債		
繰延税金負債	2,055,425	2,124,993
役員退職慰労引当金	2,230	2,230
固定負債合計	2,057,655	2,127,223
負債合計	7,076,486	5,654,199

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,545,970	2,545,970
利益剰余金	11,678,777	10,991,202
自己株式	△907,618	△907,745
株主資本合計	15,671,224	14,983,522
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,203,588	5,084,314
評価・換算差額等合計	5,203,588	5,084,314
純資産合計	20,874,812	20,067,837
負債純資産合計	27,951,299	25,722,037

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,590,509	3,446,702
売上原価	2,599,726	2,291,545
売上総利益	990,783	1,155,156
販売費及び一般管理費	439,023	471,000
営業利益	551,760	684,156
営業外収益		
受取利息	21	26
受取配当金	34,810	62,081
受取賃貸料	170	120
その他	834	274
営業外収益合計	35,835	62,502
営業外費用		
為替差損	35	—
営業外費用合計	35	—
経常利益	587,560	746,658
特別損失		
固定資産除却損	0	77
特別損失合計	0	77
税引前四半期純利益	587,560	746,581
法人税、住民税及び事業税	109,247	87,097
法人税等調整額	52,640	122,163
法人税等合計	161,887	209,260
四半期純利益	425,672	537,320

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,605,716	984,793	3,590,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,605,716	984,793	3,590,509
セグメント利益	343,650	355,001	698,652

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	698,652
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△146,891
四半期損益計算書の営業利益	551,760

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,221,151	1,225,550	3,446,702
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,221,151	1,225,550	3,446,702
セグメント利益	414,535	425,162	839,697

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	839,697
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△155,541
四半期損益計算書の営業利益	684,156

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。